

**【問題】**

次頁以下に掲げる文章は、高橋和之『現代立憲主義の制度構想』（有斐閣、2006年）23～50頁に収録された論説である。  
この文章を読み、以下の問いに答えなさい。

問1.

「この段階におけるデモクラシー」（傍線①）の意味を、答案紙の行数にして5～10行で説明しなさい。

問2.

「人民の、人民による、人民のための政治」（傍線②）の意味を、筆者の論旨に即して、答案紙の行数にして5～10行で説明しなさい。

問3.

「参加民主政論」と「代表民主政論」の構想の違いを、デモクラシーの目的との相関を意識しながら、答案紙の行数にして10～15行で説明しなさい。

問4.

レイプハルトの民主政論とデュヴェルジェの民主政論を説明しながら、それぞれが日本の問題を理解するのにどの程度役立つかについて、筆者の論旨を、答案紙の行数にして30～35行で要約しなさい。